

本 格的な少子高齢化社会の中、高齢者や障がいのある人も健康で生きがいをもって安心して暮らすことができるよう、すべての人が尊重され、共に支え合う社会の実現を目指します。市民一人ひとりが、それぞれの年齢や生活の場面に応じて自主的に健 康づくりに取り組むことができるよう、保健・医療・福祉が連携し、地域で支え合いだれもが健やかで元気に生きるまちを目指します。



水害防止・治水 狩野川放水路



過去に何度も大きな被害をもたらした暴れ川「狩野川」。昭和40年に完成した狩野川放水路は、市内のみならず狩野川流域に暮らす多くの人たちの生命と財産を守ります。



狩野川中流に位置する伊豆の国市内の左岸と、沼津市の駿河湾を開放型水路で結んでいます。

健康・福祉・医療・安全

だれもが安心して 暮らせる やさしいまち



健康



高齢者のための 交流施設

地域の特色を生かした温泉入浴施設を備えた「高齢者温泉交流館」「高齢者健康会館（やすらぎの家）」「老人憩の家水晶苑」の3施設。お年寄りが元気に交流を図れる施設として、介護予防の体操教室などが行われます。



安全



福祉



田方福祉村

障がい者が地域で安心して暮らすことができる社会を目指して整備された田方福祉村。障がい者や高齢者のための福祉施設7つが、自然豊かな環境の中で運営されています。



順天堂大学 医学部附属静岡病院

静岡県が指定する災害拠点病院である順天堂大学医学部附属静岡病院は、ドクターヘリ運航基地病院、総合周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院などにも指定されています。伊豆医療保健センターや一般診療所と合わせ、県内トップクラスの医療体制が整っています。



医療



災害時、市民に一番身近な存在 消防団

火災などの災害時に、市民に一番身近な存在として活躍する消防団。伊豆の国市では、応急手当の普及や火災予防の啓発などを行う女性消防隊も活躍中。

災害時の緊急情報発信ツール FMいずのくに

FMいずのくには、市民にとって最も身近な情報源の一つです。伊豆の国の「今」を伝えるためのイベントや行政情報のみならず、災害時の緊急情報発信のツールとしても活用しています。

